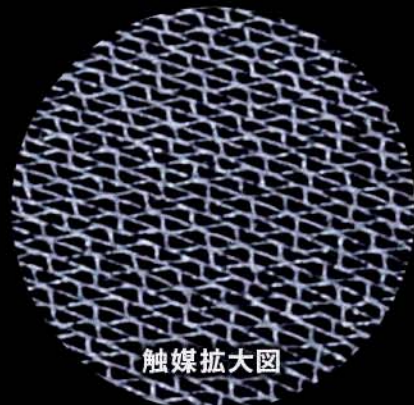


臭気強度2*以下になるまでの脱臭時間

約3分^{※1}
タバコ臭

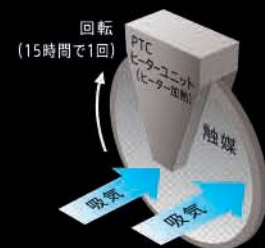
約6分^{※2}
ペット臭

*2未満になると何のニオイも分からなくなります。
*当社独自の条件にて評価。



高速メガフィルターRは、

ニオイを加熱分解するから、
脱臭性能が続く。



高速メガフィルターRの
ロータリー脱臭方式(フィルター常時再生)

強力脱臭しながら高温加熱でニオイ成分を分解し、性能を自動で回復。ペット臭やタバコ臭等、気になるニオイを脱臭し続けます。

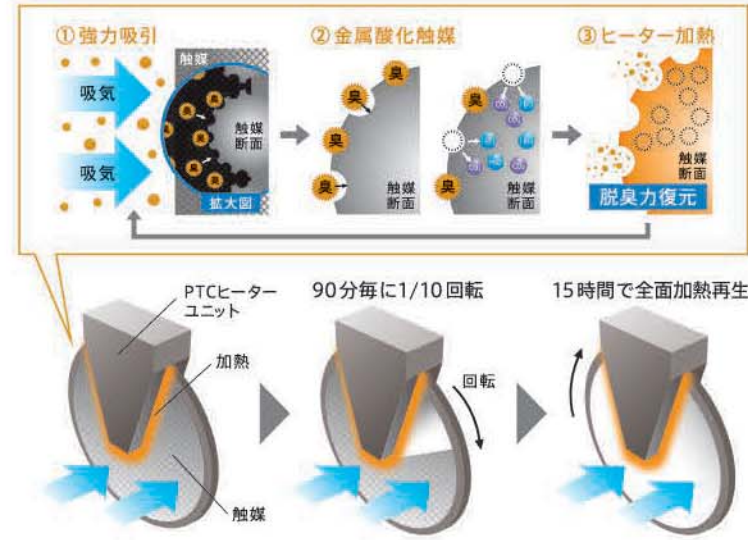


ペットやタバコ^{※1}のニオイも、
気にならないレベルまで脱臭。

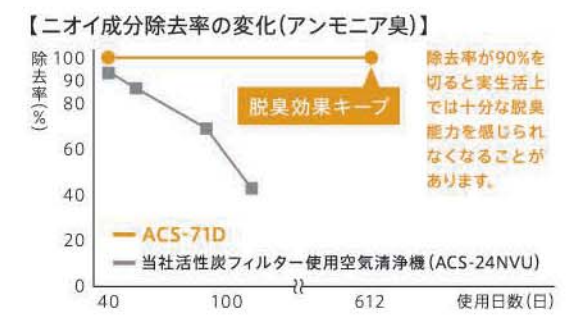
画像はイメージです

トリプル脱臭でニオイを逃がさない。

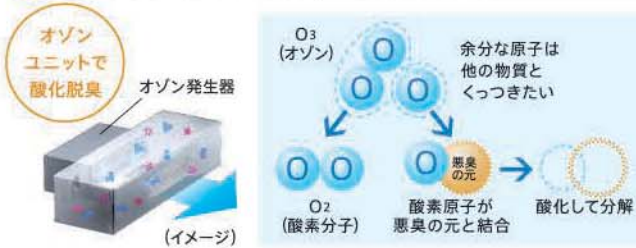
1 フィルターを回転させながらニオイを加熱分解する独自の自動再生式脱臭ユニット「高速メガフィルターR」



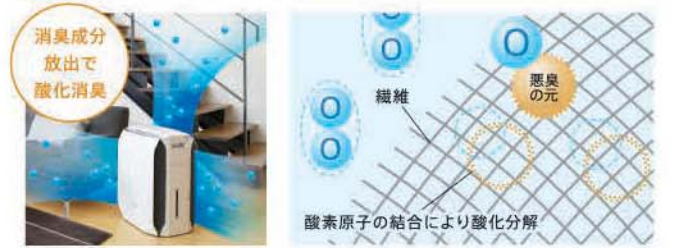
酸化触媒フィルターはニオイの成分をキャッチし次々に分解。さらにヒーターユニットで、残ったニオイ成分もしっかり分解して、脱臭性能を自動で回復。部屋の空気をニオイから守ります。



2 わずかに残ったニオイもオゾン^{※3}の力で脱臭



3 消臭成分^{※4}をお部屋に放出



自動的に再生を行うので、フィルターの交換は不要。^{※5} 詳しくは9ページへ▶▶▶

※1.タバコ臭の場合(当社調べ)、約13㎡の部屋でタバコ1本喫煙後、臭気強度が3から2に下がるまでの減衰時間。(官能試験による判定) タバコの有害物質(一酸化炭素等)は全て除去できません。
 ※2.ペット臭としてアンモニアを使用(当社調べ)、約13㎡の部屋でアンモニアを放置後、臭気強度が3から2に下がるまでの減衰時間。(官能試験による判定) ※3.オゾンは太陽の紫外線等により生成される物質で、酸化力があります。森林等の自然界にも0.01~0.05ppm程度存在していますが、オゾンユニットで生成されるオゾンは最大約0.03ppm以下にコントロールされています。オゾンは時間が経つとまた酸素に戻ります。
 ※4.放出される低濃度オゾン(最大約0.03ppm)は時間の経過とともに酸素に戻ります。低濃度オゾンは、再び吸い込まれた時に高速メガフィルターRで分解するため濃度は高まりません。
 ※5.使用状況等によっては交換が必要になる場合があります。

タバコの有害物質(一酸化炭素等)は、除去できません。常時発生し続けるニオイ成分(建材臭・ペット臭等)は全て除去できるわけではありません。